

人気アーティストの演奏をじっくり楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

— 芸劇ランチコンサート —

名曲リサイタル・サロン

Recital Salon With Masterpieces

大好評、毎偶数月開催の“清水和音の名曲ラウンジ”に続く、
新たな芸劇ランチコンサート・シリーズ“名曲リサイタル・サロン”。
東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、今人気のソリストが登場！

朝11時から約1時間、八塩圭子のナビゲートで特別なりサイタルをお楽しみください。



第7回 2020. 5.27(水) 石田泰尚 (ヴァイオリン)

シューベルト: アヴェ・マリア

クライスラー: 愛の悲しみ、シンコペーション、テンポ・ディ・メヌエット

ファリャ(クライスラー編): 歌劇「はかなき人生」より スペイン舞曲第1番

ブラームス: F.A.E. ソナタより スケルツォ、ハンガリー舞曲第6番

ピアソラ: アディオス・ノニーノ、ル・グラン・タンゴ

中島 剛
(ピアノ)



©平賀正明



第8回 2020. 7.15(水) 若林 顕 (ピアノ)

ショパン: バラード 第1番

リスト: 愛の夢 第3番、ベトラルカのソネット 第104番

メフィスト・ワルツ 第1番「村の居酒屋での踊り」

チャイコフスキー: ノクターン op.19-4 シューベルト=リスト: セレナード

バラキレフ: 東洋風幻想曲「イスラメイ」

©Wataru Nishida



第9回 2020. 9.23(水) 砂川涼子 (ソプラノ)

フォーレ: 夢のあとに、「レクイエム」より “ピエ・イエズ” デュバルク: 悲しき歌、旅への誘い

プーランク: 歌劇「偽りの婚約」より “花”、愛の小路

アーン: 歌の翼に、クロリスに

グノー: 歌劇「ファウスト」より “宝石の歌”

ビゼー: 歌劇「カルメン」より “恐くないと言ったけれど”

清水和音
(ピアノ)



©Mana Miki

ナビゲーター: 八塩圭子 (全回出演)

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定: 2,400円(各回・税込)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催: 毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

※5歳以上入場可。※都合により出演者・曲目が変更となる場合がございます。ご了承ください。

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ: 0120-415-306

(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京

0570-00-3337(平日12:00~18:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co.

検索



チケット
発売日

2020年1月17日(金)
(3公演同時発売)

チケット
取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/>(Pコード: 5月公演・173-813、7月公演・173-818、9月公演・173-825)
ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応 10:00~18:00) <http://l-tike.com/>(Lコード: 35329)
イープラス <http://eplus.jp/>

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert
Recital Salon With Masterpieces

各回の聴きどころ

第7回 2020.5.27(水)

石田泰尚

カリスマ的人気を誇り、いま最も注目を集めるヴァイオリニストの石田泰尚。独自のアプローチから奏でられる音楽に、心つかまれるに違いありません！

第8回 2020.7.15(水)

若林 顕

日本を代表するヴィルトゥオーゾ・ピアニストによる珠玉のプログラム！多彩な音色と奥行きある表情豊かなメロディーを、心行くまでご堪能ください。

第9回 2020.9.23(水)

砂川涼子

人気・実力を極め、活躍めざましい砂川涼子が披露するのは、有名オペラ・アリアからシャンソンまで幅広く華やかなプログラム！清水和音との共演でお楽しみください。



©藤本史昭

石田泰尚(ヴァイオリン)

Yasunao Ishida (Violin)



©Wataru Nishida

若林 顕(ピアノ)

Akira Wakabayashi (Piano)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2014年自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル“石田組”を結成。NHKでも取り上げられその熱いステージの様子は大きな反響を呼んだ。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。

日本を代表するヴィルトゥオーゾ・ピアニスト。17歳で日本音楽コンクール第2位。東京芸大で田村宏氏、ザルツブルク・モーツァルテウムとベルリン芸術大学院にてハンス・ライグラフ氏に師事。85年ブゾー二国際ピアノコンクール第2位、87年エリーザベト王妃国際コンクール第2位受賞。02年カーネギーホール/ワイル・リサイタル・ホールでリサイタル・デビュー。ベルリン響、サンクトペテルブルク響等にソリストとして招かれるほか、室内楽ではS. イッサーリス、ライブツィヒ弦楽四重奏団と共演するなど幅広く活躍。CDも数多くリリース。
<http://www.wakabayashi-akira.com/>



©Yoshinobu Fukaya

砂川涼子(ソプラノ)

Ryoko Sunakawa (Soprano)

可憐な舞台姿と心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。第34回日伊声楽コンクール優勝、第69回日本音楽コンクール第1位など、数々の受賞歴を誇る。武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。本格的オペラデビューは、00年新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」のエウリディーチェ役。翌年には藤原歌劇団公演デビュー。とりわけ「ラ・ボエーム」のミミは、“歌唱・容姿ともに理想のミミ”と絶賛を博す。NHKニューイヤーオペラコンサートには、02年以来出演を重ねている。2019年12月、待望のデビューCD「ベルカント」がリリースされた。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学非常勤講師。



八塩圭子(ナビゲーター)

Keiko Yashio

東洋学園大学現代経営学部准教授、フリーアナウンサー、コメンテーター
上智大学卒業後、テレビ東京入社。03年からフリー。大晦日恒例の「ジルバスターコンサート」の司会を担当したことからクラシックファンに。全日空の機内オーディオでクラシックチャンネルのナビゲーターも務めていた。トップ企業との対談やイベント・コーディネートなど、活躍の場も幅広い。フジテレビ「バイキング」コメンテーターとして出演中。

予告

チケット発売開始予定
2020年7月17日(金)



©Shigetō Imura

第10回
2020年11月25日(水)
堀 正文(ヴァイオリン)



第11回
2021年1月6日(水)
篠崎史紀(ヴァイオリン)



©ヒタキトモコ

第12回
2021年3月10日(水)
徳永二男(ヴァイオリン)